

「震災復興と産業の明日を考える」 シンポジウム

主催： エコマテリアル・フォーラム 同エコ物性代替材料WG

共催： いわて三陸起業・新事業創出支援ネットワーク INSグリーン水素研究会

後援： 岩手ネットワークシステム(INS) 岩手大学地域連携推進センター

物質・材料研究機構(NIMS) ナノ学会 NPO科学協力学際センター

東日本大震災は多くの尊い命を奪い、莫大な被害を被災地にもたらしました。震災から7ヶ月たち、復興に向けて様々な活動が行われていますが、今後も多くの費用と、人手と、物資と、そして知恵の結集が必要です。一方で、「復興のために何かできることをしたい」との思いはあっても、その手段までは思い至らず、何となく日々を過ごしてしまっている、という方も多いのでは無いでしょうか。

今回は産業振興の視点も交えた復興支援など、幅広く知識と経験をお持ちの方にお話を伺いたいと考えています。そして一般参加者も加わって知恵を出し合いたいと思います。

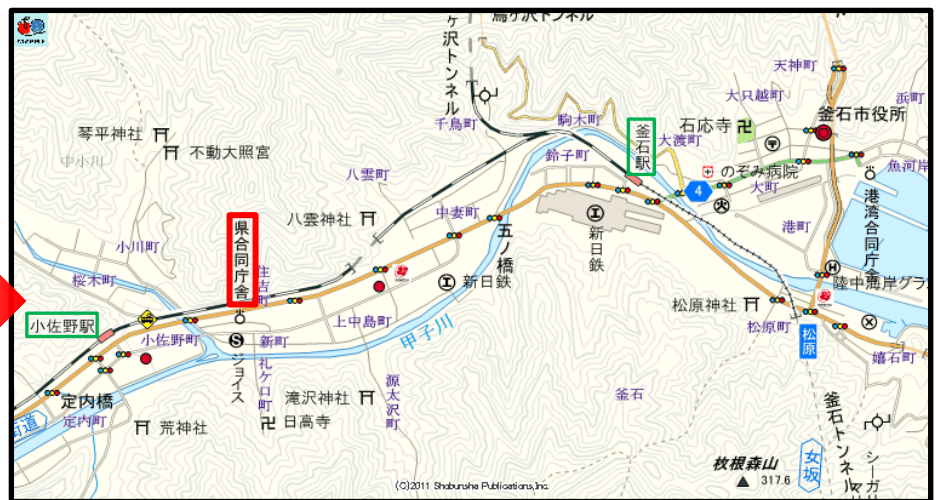
シンポジウムの後には被災地の視察なども予定しています。都合がよろしければそちらにもご参加下さい。

◆ **日時:10月12日(水) 10:00~14:30** (引き続きフィールドワークも行います)

◆ **会場:釜石地区合同庁舎(岩手県釜石市新町6-50) 4階大会議室**

釜石線小佐野(こさの)駅から徒歩10分程度

◆ **参加費:無料(当日参加もできますが、できれば事前にお知らせ下さい)**



新花巻駅↔小佐野駅・釜石駅時刻表

	新花巻	小佐野	釜石		釜石	小佐野	新花巻
	6:57	8:44	8:51		5:21	5:26	7:15
はまゆり1号	9:27	10:57	11:04		5:54	5:59	7:45
	11:12	13:15	13:21		6:50	6:55	8:43
はまゆり3号	12:05	13:29	13:36	はまゆり2号	7:40	7:45	9:11
	14:47	16:33	16:39		9:14	9:19	11:04
	16:06	17:50	17:55	はまゆり4号	10:28	10:33	11:57
はまゆり5号	18:02	19:25	19:32		12:06	12:11	14:01
	18:51	20:48	20:55	はまゆり6号	14:27	14:32	15:58
	19:50	21:41	21:48		15:53	15:58	17:52
	20:56	22:40	22:46		17:42	17:50	19:41
					19:18	19:26	21:13

連絡・申込先： エコマテリアル・フォーラム(東京) 石坂 浩子 03-3503-4681 ecomat@sntt.or.jp

岩手県沿岸広域振興局(釜石) 小笠原 徳 0193-25-2701 toku@pref.iwate.jp

岩手大学工学部(盛岡) 山口 明 019-621-6352 yamaguchi@iwate-u.ac.jp

◆プログラム◆

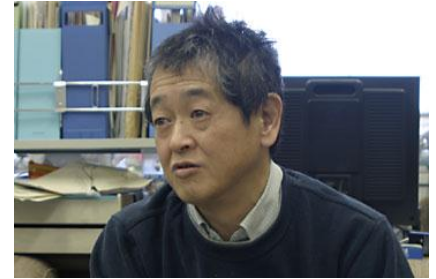
・あいさつ 岩手県沿岸広域振興局長 中村 一郎 氏

・シンポジウムの趣旨とフォーラムの紹介

物質・材料研究機構 環境・エネルギー材料部門
有沢 俊一 氏

・「SOZAI日本の元素戦略と“Waの技術”」

エコマテリアル・フォーラム会長
物質・材料研究機構 元素戦略材料研究センター
元素戦略調査分析統括グループ長
原田 幸明 氏



・「復興・エコに学術機関の果たすべき役割と最先端計算科学」

東北大学金属材料研究所教授
NPO科学協力学際センター代表
川添 良幸 氏



・昼食・休憩 (12:00~13:15)

・「被災地復興と地域産業の再興」

ローカルファースト研究所 所長
関 幸子 氏



・オープンディスカッション

・閉会 (14:30)

・フィールドワーク (希望者) 新日鐵釜石製鉄所 被災地などを視察(バスでご案内します)

・釜石駅付近にて解散 (17:00)

◆講師紹介◆

原田 幸明 氏

物質・材料研究機構 元素戦略材料研究センター 元素戦略調査分析統括グループ長
1951年 長崎県杵岐生まれ
1974年 東大工学部金属工学科卒
1979年 東大大学院 博士課程修了
1980年 科学技術庁金属材料技術研究所 入所
2002年 物質・材料研究機構エコマテリアル研究センター長
2011年 元素戦略材料研究センター 元素戦略調査分析統括グループ長

エコマテリアルの提唱者の一人、日本におけるLCAの導入に貢献。現在、エコマテリアル・フォーラム会長、日本LCA学会副会長、日本エコデザイン推進機構理事、環境配慮特定調達(グリーン調達)委員会委員。
特に近年は我が国の都市鉱山蓄積の推計などをすすめて。レアメタルの代替および循環技術の開発の先頭に立っている。

川添 良幸 氏

東北大学金属材料研究所教授
NPO科学協力学際センター代表
1947年 宮城県仙台市生まれ
1975年 東北大学院 博士課程修了

東北大学金属材料研究所教授。
ナノ学会会長。科学協力学際センター代表理事。スーパーコンピュータを活用したシミュレーション計算による計算材料学の草分けとして、アジア計算材料学コンソーシアムACCMS主催。50編以上の著書・編著書、800編以上の科学論文を発表。啓蒙活動にも積極的に当たる。

関 幸子 氏

ローカルファースト研究所 所長

1980年 法政大学法学部政治学科卒業
2008年 法政大学政策科学研究科 修士課程卒業
1980年 三鷹市役所に入庁 教育委員会 図書館勤務 児童サービス担当 図書館司書取得(近畿大学 通信教育課程)
1989年 三鷹市企画部企画調整室
1995年 三鷹市生活環境部経済課
2006年 三鷹市教育委員会駅前図書館 館長
ビジネス支援サービスを開始
2007年 三鷹市役所退職
2007年 財団法人まちみらい千代田 専門調査員(2007年12月~09年3月 まで秋葉原タウンマネジメント株式会社派遣)